

## (1)『大学入学共通テスト受験案内』 WEBにて一読あれ

7月22日に、『2021年度大学入学共通テスト受験案内』が大学入試センターのホームページにアップされました。例年は7月上旬に公開されていましたが、諸般の事情でやや遅れ気味の発表に。「配慮申請」は各自で行います。案内冊子実物の発送は9月1日以降で、本校には2日に到着予定→3年生全員に配布します。…9日校内説明会…志願票を下書き…清書して、受験料の振り込みを9月第3週に行い…現役生は、高校から一括出願となります。

## (2)第1日程と第2日程？ 追試は「センター試験」用にストックしておいた問題？

問題点1 2月1日～私大入試(医療系等は1月下旬も)への影響は？ 国公立2次試験までの対策期間へ影響は？  
問題点2 自己採点→予備校等が全国集計&判定→最終的に出願先を決定 第2日程受験に対応できるのか？  
問題点3 追試はセンター試験の予備問題？ 本来の追試問題を第2日程に回すのか…例年、追試の方が取れない個人的には、「よほどのこと(感染症発症、濃厚接触対象…)がない限り、第1日程で決まり」です。県を跨がないので学習の遅れ？2週間で解決する程度の遅れって？今から半年あれば対応可能 共通テストでは数Ⅲ出題ありません過去の教訓。制度変更の初年度 前年より平均点が低かったケースは過去にない。対策するから？易しめだから？「試行調査≒共テ模試」よりも「センター試験にかなり近い出題」なのかも センター過去3年分をやっておくべきと思う

## (3)公開模試 秋以降も公開会場(主に大学会場等)は無理っぽい

今まで:都内大学(WやHやRとか)で受験できることに意義があった…場の緊張感・完全アウェー・「受験は個人戦」ベネッセ模試 基本的に学校実施…影響なし ベネッセ駿台模試 学校実施は影響なし・公開会場分が×切可能性 駿台模試 元来上位層で限定的…×続出 全統模試 公開会場実施を当面中止…自宅解答多数←ここが今問題 大学会場は全部中止=平等。今までも今も「遠くへ行くのメンドクサイ・近い方がいい」人々…学校や自宅=影響なし 大学を含む公開会場の多さや受験者層・規模から一般入試への影響力大きい全統模試→偏差値・判定のブレ覚悟 夏時点での模試は、既卒生を含め、特に3~5月分の授業の地域や高校によるズレもあり、成績・判定は参考程度に 県立校生(小金高校のような) 夏秋時点で判定は出ない人多数、そういうものです 昨年の明治、29/45がD判E版

## (4)英語外検 各大学、学部、入試方法で扱いは違うので注意

「出願資格」(学校推薦型は特に注意) なのか「換算・加点」(どのレベルでどの程度) なのか入試要項で要確認 1, 2年のうちからハイスコア目指して対策しておいた方がよい！ほとんどの大学で出願より2年以内のスコアが有効 英検 混乱…入り口で密発生 S-CBT…延期と予約満杯 しかし、必要な人は早めに可能な範囲で受けておくべき 立教(文以外)=大学は「英語」出題せず…外検か共テ英語を大学基準で「英語」得点換算…英語以外の2科目入試

## (5)国公立大 一般選抜による入学者比率 推薦・AO⇒学校推薦型選抜・総合型選抜

大学名	北大	東北	筑波	埼玉	千葉	外大	東京	東工大	農工大	海洋大	学芸	芸大	横国
入学者数	2536	2460	2148	1611	2380	797	3070	1131	856	456	1061	470	1714
一般で入学	2463	1869	1511	1417	1877	698	3004	961	765	395	924	466	1438
一般比率	97%	76%	70%	88%	79%	88%	98%	85%	89%	87%	87%	99%	84%

最も推薦・AO枠が多い筑波大でも一般入試が7割、推薦は4.3以上or活動実績全国レベル等の条件。他大学も難関「30%に拡大」は国大協の「目標」。地方国立は地域事情(地元志向・私大がない)、公立大は地元の都県生を優遇 千葉大教育や県立大は一般入試でも面接(論・適)があり、推薦・一般の連動性あるので、第一志望なら挑むのも！

## 総合型・学校推薦型選抜 第一志望へのチャレンジ限定で 他大学・他学部との迷いがある人は一般選抜にすべし

文科省の方針 「学校推薦型選抜は入学定員の50%まで(付属も含む)」 「総合型選抜は制限記載なし」 偏差値表や名前につられ、受かりそうだと安全志願したりすると大変な目に遭うことも 小金生は少ないが「再受験」も

## (6)私大 一般入試による入学生比率 推薦・AO⇒学校推薦型選抜・総合型選抜

昨年、迷わず怯まず粘った人…一般選抜でMARCH受かる人多い 学推・総合型は本当の第一志望大学・学部には早・慶:附属枠、一般定員も多い 明・理:推薦を抑え一般枠確保 国公立や早慶併願者の受け入れ態勢OK 女子大:津田塾・東女・日女・学女は一般入試入学50%以上。記述問多く・延納申請ありで国公立との併願者も受験 上智・学習院:推薦多い、補欠合格入学多い…偏差値は？一般正規格分です！ICUも一般枠少なく、他選抜多い 法政、中央、青学、立教は60%が一般入試での入学 法(GIS)や青(地球社)のように学部によって極端なものもある 慶応(文)4.1以上 上智4以上で外検有など 上位レベル大学は基準高く、課される試験もハード…本当に行きたい人

大学名	早稲田	慶応	明治	理科大	芝浦工	津田塾	東京女	日本女	上智	ICU	学習院	明学	工学院
入学者数	8718	6396	7462	3706	1968	781	902	1546	2745	490	2119	2902	1399
一般で入学	4861	3603	5216	2563	1565	601	575	936	1222	209	979	1170	558
一般比率	56%	56%	70%	70%	80%	67%	64%	60%	45%	43%	46%	40%	40%

## (7)5年後、10年先をイメージして、志を抱いて、今を生きよう

大卒就職が2020年代後半は変化する。大量採用は？今でも東大京大生の人気ベスト5は「コンサル」だと言われる。 弁護士⇒法、医療従事者⇒医、技術者⇒理工、学芸員⇒文と決まる人は少ない。自分軸を作って関係性を想像する。 今まであった仕事(オフィス事務)が↓若者が避けてきた仕事(Smart農業)が↑？変化は可能性…『Society 5.0 時代』 選択には消去を伴う。進学可能性が(入試的に)狭まるような選択はしないほしい。学習教科を可能な限り万遍なく。